

# REALE CUP 2019 REPORT

開催日:2019年5月18日(土)  
開催場所:小室山運動公園

## REALE CUP 2019

New Style

5/18 am9.30 - pm5

### 本気!!!

### と 社会貢献のサッカー大会

参加費  
FREE

USED

熱い気持ち!



# 挑 戦



## 試合は8人制ノックアウト式トーナメント戦

負けたら終わりのノックアウト式トーナメント。「勝ちたい」「勝つ」どの試合もそこには、ボールを追いかけピッチを駆ける子どもたちの真剣な姿があり、勝つ喜び、負ける悔しさを全身で感じる一日になりました。



よりプロの試合に近づける。全員が「本気でやる」からこそ得られるものを感じる。

レアーレカップは、子どもは「選手」であり、大人は本気でこのイベントを成功させる「チームメイト」。「MVP、ベストGK、DF、MF、コーチ」を選出し、表彰式もプロの試合を彷彿とさせる雰囲気 연출。本気でやる「楽しさ」「充実感」を全員で実感しました。

### 【参加8チーム】

- 長泉アミーゴスA
- 長泉アミーゴスB
- イナズマイーグルス
- FCヴェンツラ
- 裾野西サッカースポーツ少年団
- FACT
- Mare FC
- FC レアーレ



試合毎にプロの目で選出された優秀選手。子どもたちの本気に火がつかしました。

## 子どもたちの気持ちに火をつけたマンオブザマッチ(MOM)の選出。

各賞はすべてプロフェッショナルの皆さんから手渡され、スポンサーボードの前で写真撮影も行いました。



レアーレカップでは、プロ選手、元プロ選手が、全試合において公平な目で「マンオブザマッチ」を選出しました。プロに自分のプレーを見てもらえるだけでなく、評価されるこのチャンスが、子どもたちの気持ちをさらにヒートアップさせました。

# 子ども、本気になる！ 真剣勝負のトーナメント戦

REALE  
**本気**  
**社会**

20



シューズの寄付が参加条件。たくさんのシューズを寄付してくれた選手もいました。

## 参加条件は「ワールドフレンズプロジェクト」へのシューズの寄付

カップ戦に参加するにあたっては、参加者は「お金」を支払って参加することが一般的です。レアーレカップは、レアーレワールドが取り組んでいる社会貢献活動「ワールドフレンズプロジェクト」への、シューズの寄付をもって「参加」としました。



## 集まったシューズは181足！

「履かなくなった靴を持っていけば試合ができる」、最初はそのくらいの認識だったでしょう。一人一人が持ち寄った靴も集まれば181足。その量を見ること、その靴を選び、量や重さを体で感じる。一人一人が行動することの「インパクト」を感じてもらえたのではないのでしょうか。

ワールドフレンズプロジェクトロゴ



たくさん集まったシューズやユニフォームと一緒に参加チーム代表選手らが記念撮影。



大人、本気でやる！  
応援・サポート・プロの姿

大人たちが「チーム」になって子どもを育てる。



子どもたちが本気で戦う「試合」と「社会貢献」が一体となったレアーレカップは、他では見られないコンセプトの大会です。この初挑戦を支えたのは、実現に向けて本気で関わってくださった保護者の皆さん、講師やスタッフの皆さん。一人ひとり違って、目標に向かって力を合わせることで「できる」こと。そうして「チーム」になれたら、やったことがないことでも実現を可能にすること。それを「姿」を通して子どもたちに見せられたことが、このチャレンジの最大の収穫です。

プロの姿を見ること。  
「力を発揮する」ということを姿で感じる。

今回の運営にあたっては、講座の講師のお二人をはじめ、カメラマン、デザイナー、MCなど、さまざまな分野のプロの方が関わっていただきました。保護者の皆さんには、大会を盛り上げるアイデアをいただき、惜しみなく協力していただきました。自分の力を発揮することが誰かの役に立つこと、本気で関わる大人の姿、協力し合う姿があちこちに見られる「場」、その醸し出す空気の中でレアーレカップは実現しました。



知識や経験を提供し、  
チームで子どもたちの  
夢の実現の「力」になること。

レアーレカップでは、参加チームの選手はもちろん、保護者、来場された誰もが聞いて学べる「特別講義」を実施しました。プロの経験談を聞き、テクニックを見て学び、知識を吸収する場です。講師のお話は、具体的でわかりやすく、すぐ実践できる内容で、子どもたちが夢を叶えるための「力」になる素晴らしい機会を提供できました。

講座①「夢を実現するために必要な事」  
片岡洋介(元プロサッカー選手)



講座②「親子で学ぶアスリート食育講座」  
岡田竜一(Athlete Firm 代表)



CUP  
!!!と  
貢献

19

社会貢献!  
行動することの  
インパクトを経験する

社会貢献することをもっと自然に身近に



子どもたちにとって身近なサッカーの場は、社会貢献とは一見無縁のように思えるかもしれませんが、しかし、アイデア次第で社会貢献もできるという経験が、子どもたちが社会貢献に興味を持つきっかけとなり、自分のいる環境を改めて見つめるきっかけとなり、違う環境にいる人の存在を想像するきっかけとなり、広い視野を持ち関心を持って、自分にできることを見つけ行動すること、そうした「きっかけ」を提供しました。

参加した保護者の声

「本気!!!」の空間で過ごした1日  
そこにあったのは「やりがい」と一体感

レアーレカップから帰ってきた息子は、いつもと顔が違っていました。目の色が変わって、本当にいい顔で帰って来た息子を見て「こういうことなんだな」って思いました、「本気」でやることの意味やその大切さが。

力を、自分を、出し切れたのだと思います。体もよく動いて、サッカー自体が楽しかったのだと思いますが、それは、きっと親たちが協力しあう空間の中でプレイできたからじゃないかなって思いました。

会場では、MCの方がアナウンスしてくださり、元Jリーガーの片岡選手がテクニックを教えてくださいました。食育はレアーレで学ぶ機会をいただいておりますが、今回は参加した全員で学ぶことができました。どれもプロが本気でやってくださっていて、子どもたちは「選手」になっていましたよね。興奮していました。親たちが力を合わせている姿、一緒について来た対象学年以外の子も楽しそうで、幼児さんたちもボールを蹴って遊んでいて、シューズの寄付もそうですが、自分も参加できる、親も手伝えることがあって、普段の試合とはまた違う「やりがい」がありました。大きなチームの一員になれた、そんな気持ちがありました。

## 7月、ネパールへ 子どもたちにシューズを 手渡す活動実施

リアーレカップで寄付いただいたシューズやユニフォームは、「ワールドフレンズプロジェクト」「ヒーロープロジェクト」に寄付いただいたものと合わせ、7月ネパールに運びました。シューズが220足、ウェアが350着以上など、膨大な量になりました。輸送に当たっては、三好代表理事ら3名が可能な限り手荷物で運び、大半をEMSで輸送。そのコストを、医療法人社団KMR様、IM SUPPORT様がサポートしてくださり、無事運ぶことができました。



## 2つのプロジェクトのコラボレーションで 一步一步、理想の在り方に近づいていく



現地では、スタッフのほか、ナショナルチームに所属し、リアーレワールドの活動に協力してくれている選手らと何度もミーティングを重ねました。そして、日本の子どもたちからネパールの子供たちにシューズを届ける「ワールドフレンズプロジェクト」と、ネパールの子供たちにとってヒーローとなる選手を応援する「ヒーロープロジェクト」をコラボレーションさせることになりました。このコラボレーションによって、ヒーローたちが、自分の出身地の子どもたちにシューズを渡すことで、あらゆる地域の子供たちに手渡すことが可能になります。ヒーローはシューズとともに自分の経験をシェアすること（ペイフォワード）ができ、子どもたちはヒーローと接することで夢をリアルに感じ、頑張る気持ちを持ち続けられるようになります。限られた滞在期間。良いと思うことは即断・即決・即実行することで、早速ヒーローたちが動き始めました。

リアーレカップ2019の開催によって  
私たちの活動を進展させることができました！  
開催を支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます

【協賛】

MIRO  
木村衛生社  
エクシブ伊豆高原  
Field of Potentiality  
うさぎ薬局  
伊東市国際交流協会 瀧下宣彦  
レモンの木  
ひまわり接骨院  
ベストプロデュース  
ビームベンチャー

【協力】

SSIZU  
Athlete Farm  
MC つつみ慶  
写真 杉崎真一  
映像 長野道徳 津曲裕之 百瀬千秋

【プロジェクトサポーター】

医療法人社団 KMR 北村良平  
IM SUPPORT

※敬称略

### 【リアーレワールドへのご支援のお願い】

認定NPO法人 REALE WORLDの  
活動の様子はホームページや  
SNSでご覧いただけます  
活動に共感いただけましたら  
ご支援・ご協力をよろしくお願い致します



ホームページ



FACEBOOK